

(株)オーティーエスが贈る  
 ファッション・アパレル物流通信

# Open Talks!

September, 2014  
 Vol.57

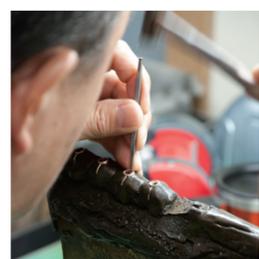
Newspaper of the logistics of apparel and fashion

社内研修委員&広報委員コラボ企画



## Jewelry factory tour

-ジュエリーはこうやって作られている-  
**ジュエリー特集 in 山梨**



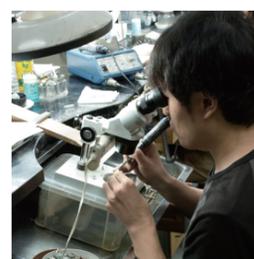
日本のジュエリーの1/3が作られる山梨県は**宝石貴金属加工日本一!**江戸時代に上質の水晶が採掘され、水晶研磨の技法が伝えられたことが始まりとされ、現在では、宝石の研磨加工、貴金属加工、更には国内外への流通を行う企業など、ジュエリーに関わるあらゆる業務が集中する、世界的にも珍しい「集積産地」となりました。ジュエリー専門に取扱う瑞江センターの、お取引先様も数多く山梨県にあります。

そこで、その中の一社様へ研修を兼ねて見学に行ってきました。普段は製品としてのジュエリーを検品していますが、モノの作り方を学ぶことにより、また違った観点からジュエリーを見ることができるといふ思いがありました。

今回お邪魔したメーカー様では貴金属加工全般、原型のデザイン製作から鋳造、仕上げまでを行っています。それらの過程には、切る作業、削る作業、ロウ付け（貴金属と貴金属を接合する）作業、宝石を留める作業など、過程ごとに多様で、細かな作業の積み重ねでした。そして、たくさんの方々携わり一つの製品を作り上げていたのです。

繊細なデザインが多いため、以前は原型の作製に1日1型ほどであったものが、ジュエリー造形CADソフトを数種類使用することにより、1日7型（月に約150型）は作製でき作業効率が上がったとお話がありました。**ハイテク化!!** その原型修正の仕上げを行う職人さんは、スコープを覗きながら（写真右図）、数ミリ単位を細かく綺麗に磨いて、こんなに細かい作業をしていた事に驚きでした。原型では特に気を遣うそうです。最先端のシステム・機械を使用しても、最終的には人の手、人の目で確認されながら作られているのですね。

このような製造工程を知ること、今までは完成形でしか認識できなかった製品が、様々なパーツの組み合わせに見えてくるから不思議!成る程、この作りだからこそ、この部分をよく見る（検品する）必要があるんだな・・・と実感しました。もちろん、今回見せていただいた工程以外にもたくさん作業はあるでしょう。それは商品デザインによっても異なると思います。ただ、今までとは違い“ものの作り”を想像しながら製品を見ることができるようになったのも大きな収穫だったと思います。



**体験**



製作体験は、ストラップ作り挑戦。好きな天然石が選べ、ジュエリーを身近に感じ、皆夢中になってしまふ、そんな空間♥(社長も真剣!)

平面研磨盤を使って、原石にカットを施す磨き上げの体験も可能。様々なカットをし、宝石を最大限に輝かせることも。



### ご当地グルメ



山梨県の代表的な郷土料理といえば「ほうとう」。戦国時代の武将・武田信玄公が簡単に栄養バランスに優れているということで、陣中食として食していたという説もあるとか。

馬刺しも有名ですね!皆、仕事なのでお酒を我慢して(笑)いただきました。味は最高です。ごちそうさまでした!



### 社長の研修後記

この度荷主様のご協力があったからこそ、この研修が実現致しました。お客様のご理解、貴重な経験の機会を頂き、心から感謝申し上げます。物流業としての流れの大切な部分を担っているながら、お客様のサプライチェーンのことを学ぶ機会が少なかったと反省しています。今とこれからに最適な物流の姿をご提案を、スタッフと共に学び続けて参りたいと思います。皆様のビジネスの発展のために共に考え行動できるよう、これからもご理解とご協力をよろしくお願い致します。

